

美術科学習指導案（1年2組）

- 1 題材 見えないものをあらわす
- 2 題材の目標及び評価規準

目標	(1) 形や色彩の性質や、構成や構図が感情にもたらす効果などを理解し、自分の表現したい意図に応じて形や色彩、技法を選択し、創意工夫して表すことができる。 (2) 目に見えない音楽のイメージなどから主題を生み出し、モダンテクニックの造形的なよさや働きについて考え、曲全体と部分との関係などを考えながら発想し、構想を練るなどして見方や感じ方を広げることができる。 (3) 楽しく美術の創造活動の喜びを味わい、見えないものを色や形で表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。		
	評価規準	知識・技能 ①形や色彩、構成が感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、見えないものを全体のイメージで捉えることについて理解している。 ②形や色彩、構成が感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、意図に応じて表現方法を創意工夫して表している。	思考・判断・表現 ①目に見えない音楽のイメージから主題を生み出し、曲全体と部分との関係を考え、形や色彩などから構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 ②見えないものを表現した作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、イメージを形や色彩で表現するための工夫や作者の心情について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。

3 題材設定の理由

(1) 教材観

本題材は、生徒が音楽を聴いたときのイメージを、形や色彩の造形的な働きやモダンテクニックなどの技法を用いて音楽という目に見えないものを目に見える形で表現し、見方や感じ方を広げる活動を通して、発想や構想をする能力を高めていくものである。

抽象画で描かれている形や色彩などから、どのようなイメージや作者の意図が感じ取れるか考える活動を通して、生徒たちは自分の表現したい意図に必要な形や色彩を選び、創意工夫する力を高めることができる。また、学級全体でアイデアを共有したり、互いの構想について検討し合ったりする活動を通して、自分のイメージや意図を表現するための発想の幅を広げ、構想を練り直し、新たなアイデアを生み出す力を高めることができる。さらに、音楽という目に見えず、正解がないものをモチーフにすることで、生徒は似ている、似ていないや、上手、下手といった捉え方から離れ、自分がイメージする形や色彩で描くことが求められることとなり、美術の創造活動の喜びを味わったり、表現したりする意欲を養うことができる。

(2) 生徒観（男子 19 名、女子 15 名 計 34 名）

- ・知識・技能について、自分の表現したいイメージに合わせた形にしたり、工夫して配色したりすることができる。しかし、形に対しては具体的なものを活用した表現はできるが、抽象的に表現する方法の幅が狭く、色彩についても濃淡の変化や色同士の組み合わせを追究する生徒は少ない。これは、色の作り方や組み合わせ方、表現の技法に対する理解が足りないことが原因ではないかと考えられる。
- ・思考・判断・表現について、ほとんどの生徒が自分の発想を意欲的に表現することができる。しかし、自分のイメージをどう表現したらよいか分からない、何も浮かんでこないという生徒もいる。これは、生徒が自分のイメージを表現するための多様な方法や、様々な発想に触れる機会が少ないことが原因ではないかと考えられる。
- ・主体的に学習に取り組む態度については、生徒は自分のもつ知識や表現したい意図を基に構想を練り、その意図に応じて工夫して楽しく表現の学習活動に取り組んだり、他の生徒の作品を鑑賞し、どのような技法を使って工夫して表現しているかなどに興味をもって学習活動に取り組んだりすることができる。

4 指導と評価の計画（全8時間計画）

過程	時間	◎目標・課題	○学習活動	重点	記録	備考
出 会 う	1	◎音楽をモチーフにした抽象画を鑑賞し、造形的な視点から表現の意図や工夫を捉えることができる。 作品から音楽のどのようなイメージや工夫が伝わってくるだろうか。	○作品に込められた作者の意図や工夫を造形的な視点から考える。 ○音楽を聴き、スケッチブックに自分が感じたイメージを描く。	態		態①：記述分析
	1	◎モダンテクニックの技法を学び、音楽から感じたイメージを表現することができる。 モダンテクニックの技法を用いながら、音楽から感じたイメージを表現してみよう。	○モダンテクニックの技法について学び、その表現方法を試行錯誤する。 ○モダンテクニックも活用して、前時で聴いた音楽から感じたイメージを再度スケッチブックに描く。	知	○	知②：記述分析
題材の課題：モダンテクニックを効果的に用いながら曲を聴いて感じたことを想像して表現しよう。						
試 す ・ 広 げ る	1	◎曲から感じたイメージを形や色彩を工夫して表現することができる。 自分が表現したい曲のイメージを、工夫して表現しよう。	○自分が表現したいと感じた曲を選ぶ。 ○曲のイメージを、モダンテクニックを活用してスケッチブックに描く。	知		知②：記述分析 ワークシート
	1	◎自分が表現した作品をグループで共有し、作品の構想を練ることができる。 前時で制作した作品を基に、自分のイメージから生まれた表現をグループで共有しよう。	○前時で表現した作品について、グループで共有する。 ○前時までに表現した作品を切り貼りし、組み合わせたアイデアスケッチを構想する。	思 知	○ ○	思②：記述分析 ◇ワークシート 知②：記述分析 ◇ワークシート
	1 (本時)	◎音楽を聴いて感じたイメージについて形や色彩、技法など造形的な視点を基に構想を検討し合うことで、新たな構想を練り直すことができる。 自分のイメージをさらによりよい構想にするためには、どうすればよいだろうか。	○前時のアイデアを振り返り、修正をしつつ自分のアイデアの課題を確認する。 ○アイデア基にグループごとに構想検討タイムを行い、構想を練り直す。	思	○	思①：記述分析 ◇ワークシート
表 す	2	◎アイデアスケッチを基に、描いた作品を組み合わせながら曲全体のイメージを制作することができる。 アイデアスケッチを基に、感じ取った曲全体のイメージを表現しよう。	○これまで描いた作品を、アイデアスケッチをもとに切り貼りして組み合わせ、自分の感じた曲のイメージに合わせて制作する。	知	○	知①：行動観察 記述分析
振 り 返 る	1	◎自分の作品について発表し合い、情報を共有しながら鑑賞することで、発想や構想をする力を高めることができる。 形や色彩など、造形的な視点から作者の表現の意図や工夫を想像しながら鑑賞しよう。	○形や色彩、技法など造形的な視点から作品を鑑賞し、作者の表現の意図や工夫について考え、記録する。 ○自分の作品についてグループで発表し合い、作品を全体で共有する。	思 態	○ ○	思①：記述分析 ◇ワークシート 態②：記述分析 ◇ワークシート

5 問題解決の過程における ICT 活用の位置付け

ICT の活用のポイント **個** **協**

出会う

1 表現の見通しを持つ

- 音楽をモチーフにした抽象画を鑑賞し、造形的な視点から表現の意図や工夫を捉える。
 - ・音楽をテーマにした抽象画を鑑賞し、どのような形や色彩の工夫があるか考える。
- モダンテクニックの技法を学び、音楽から感じたイメージを表現する。
 - ・モダンテクニックの技法について学び、その表現方法を試行錯誤する。
 - ・モダンテクニックによる表現からどのような感情のイメージが感じられるかについて考える。

個 モダンテクニックの技法動画を Google サイト上で生徒が自由に見直せるようにすることで、生徒が必要なときに技法を確認しながら「試行活動」に取り組むことができるようにする。

試す・広げる

2 表現したいことや主題を発想や構想をする

- 選んだ曲から感じたイメージを形や色彩を工夫して表現する。
 - ・曲を聴いて感じ取ったイメージを、形や色彩、モダンテクニックなどの技法を活用して自由に発想し、「試行活動」をする。
- 自分が表現した作品をグループで共有し、作品の構想を練る。
 - ・主題を表現するための形や色彩、技法を効果的表現の工夫を発想し、構想を練る。

協 モダンテクニックによる表現からどのような感情のイメージが感じられたか記録し、ロイロノートで共有することで、自分以外の視点からの意見を学ぶことができるようにする。

協 「試行活動」した中で生徒が考えたり感じたりしたことをロイロノートで共有することで、生徒が自分とは違う視点のアイデアを学び、発想や構想に取り入れることができるようにする。

個 生徒が発想、構想したアイデアをロイロノートで共有することで、生徒が自分で必要なタイミングで他者の発想や構想を参考にし、豊かに発想することができるようにする。

- 「構想検討タイム」で互いの構想を検討し、構想を練り直す。
 - ・構想したアイデアをグループ内で共有し、アイデアについてそれぞれの視点から検討し合い、ロイロノートに記録する。
 - ・構想を検討したアイデアを学級全体で共有する。

協 ロイロノートの共有機能を用いることで、グループ内だけでなく学級全体や学年全体でアイデアを共有することで、それぞれの構想を深めることができるようにする。

表す

3 構想を基に制作する

- アイデアスケッチを基に、描いた作品を組み合わせながら曲のイメージを表現する。
 - ・アイデアスケッチを基に、モダンテクニックを活用しながら選んだ曲のイメージを表現する。
 - ・授業ごとに制作記録をつけ、自分の課題を振り返る。

個 アイデアの構想や作品制作を進める中で、そのとき考えたり感じたりしたことを制作記録につけることで、生徒が授業ごとの活動の連続性を保つことができるようにし、それを集約したものを基に教師が個別に支援を行うことができるようにする。

振り返る

4 作品を鑑賞し表現活動を振り返る

- 自分の作品について発表し合い、情報を共有しながら鑑賞することで、発想や構想をする力を高める。
 - ・形や色彩、技法など造形的な視点から作品を鑑賞し、作者の表現の意図や工夫について考え、記録する。
 - ・自分の作品についてグループで発表し合う。
 - ・それぞれの作品を集約し、学年全体で共有する。

個 ロイロノートや Padlet でそれぞれの作品の写真や、解説文を共有することで、作者の意図の理解や発想や構想の工夫についてより深めることができるようにする。また、作品に関して発表をし合う際に、生徒それぞれが説明を聞きながら作品の興味、関心をもった部分を拡大したり見直したりすることができるようにする。

6 本時の展開 (5/8)

(1) 目標

音楽を聴いて感じた自分のイメージについて形や色彩、技法など造形的な視点を基に構想を検討し合うことで、新たな構想を練り直すことができる。

(2) 展開

＜「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるためのICTの活用＞

個 イラストアプリのレイヤ機能による色彩表現の「試行活動」を行う。

協 ロイロノートを用いてアイデアの情報を共有し、「構想検討タイム」を行う。

主な学習活動		指導上の留意点及び支援・評価
予想される生徒の反応	ICT活用<分類>	
<p>1 前時の活動を振り返り、それぞれの本時の課題をつかむ。</p> <p>○前時の活動を振り返り、本時の自分の課題を確認する。</p> <p>〔・この曲の盛り上がりは、どのように表現すればいいだろうか。〕</p>	<p>○前時の「試行活動」の成果を振り返る。〈思考の整理〉</p>	<p>○前時のアイデアを確認し、どのような課題があったか振り返らせることで、構想の連続性を保持し、本時の新たな課題を設定することができるようにする。個</p> <p>○集約したアイデアのよい点などを全体に紹介することで、構想する上で大切なことを生徒が理解することができるようにする。協</p>
<p>課題：自分のイメージをさらによりよい構想にするためには、どうすればよいだろうか。</p>		
<p>2 本時の自分の課題を基に、アイデアを構想する。</p> <p>○曲の部分を描いた作品を組み合わせ、曲全体のイメージを表現するアイデアを構想する。</p>	<p>○Sketchbookを使い、様々な形や色彩の組み合わせを試す。〈試行錯誤〉</p>	<p>○Sketchbookのレイヤ機能を使用させることで、様々な形や色彩の表現や組み合わせを「試行活動」することができるようにする。個</p> <p>○描いたものを撮影してアプリ内に取り込むことで、同じものを何度も「試行活動」に活用することができるようにする。個</p>
<p>3 互いのアイデアをグループで共有し、造形的な視点を基に「構想検討タイム」に取り組む。</p> <p>○発表されたアイデアに対してそれぞれの視点から意見を述べ合っロイロノートに記録し、アイデアを改善する。</p>	<p>○ロイロノートで互いのアイデアの画像や考えを共有する。〈共有〉</p> <p>○ロイロノートに互い意見を書き込み合う。〈可視化〉</p>	<p>○ロイロノートに提出して学級でアイデアを共有することで、グループ以外のアイデアも構想の参考にすることができるようにする。協</p> <p>○ロイロノートで互いの構想に対する意見を書き込み合うことで、いつでも他者からのアドバイスを確認することができるようにする。協</p> <p>○造形的な視点からアドバイスや意見を書くことで、それぞれの構想に具体的に生かすことができるようにする。協</p>
<p>4 「構想検討タイム」で得た新たな発想を生かして構想を練り直す。</p> <p>○「構想検討タイム」で得た発想を基に構想を練り直す。</p> <p>〔・他の人の表現の仕方を自分でも使ってみよう。〕</p>	<p>○「構想検討タイム」の新たな発想や構想をロイロノートで共有する。〈共有〉</p>	<p>○「構想検討タイム」で得た新たな発想をロイロノートで共有することで、それぞれのアイデアに対しどのような意見が出たか学級全体で共有し、自分のアイデアの参考にすることができるようにする。協</p>
<p>5 本時で学んだこと、考えたことについて振り返る。</p> <p>○本時で学んだことなどをワークシートに記入する。</p>	<p>○ワークシートに作品の進行度合いやつまづきを記録し、提出する。〈指導の個別化〉</p>	<p>【思考・判断・表現】 形や色彩、技法など造形的な視点を基に、自分の練り直した構想について記述している。(ワークシートの記述)</p> <p>○本時での自分の考えなどを制作記録として残しておくことで、次時での構想の連続性を保持しながら課題に取り組むことができるようにする。個</p>

＜まとめ・振り返り＞

・この曲の盛り上がりは、ドリップングで描いたイメージを、波のうねりのような形にすると表現できそうだった。